

**逢瀬町河内地内での高濃度PCB廃棄物の不法投
棄について**

令和2年6月9日
郡山市生活環境部
3R推進課
担当：堀米 愛美
TEL：924-2181

逢瀬町河内地内の市道において、有害物質であるポリ塩化ビフェニル（以下「PCB」という。）を含むコンデンサー1台が不法投棄されていたことが判明しました。

コンデンサーに破損はなく、絶縁油の流出もないことから、周辺環境に影響はありません。今後、郡山北警察署の協力のもと、不法投棄行為者の特定に努めてまいります。

1 発覚日時

5月8日（金）午後3時頃

2 不法投棄場所

郡山市逢瀬町河内字原 地内

3 発覚経緯

近隣住民からの通報により、4月21日（火）、市職員が逢瀬町河内地内の市道にて不法投棄されている当該機器をPCB含有のシールが貼付されていることに気づかずに回収、河内クリーンセンターへ搬入した。その後、5月8日（金）にクリーンセンター職員が、当該機器にPCB含有のシールが貼付されていることに気づき、本件が発覚した。

4 対応状況

腐食防止のため、屋内に移動し仮保管した。また、当該機器の銘板がなく、PCB濃度が不明だったため、民間の分析機関へ絶縁油の分析を依頼した。その結果、6月5日（金）に高濃度PCBを含有していることが判明した。

5 今後の対応

郡山北警察署の協力のもと、不法投棄行為者特定の調査を行う。